

2017年1月30日

当院で大腸癌の手術を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名： 大腸癌術後サーベイランスにおける下部内視鏡検査の至適検査時期の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、大腸癌の手術後における大腸内視鏡検査の適切な検査時期を探索する目的で、大腸癌の手術を受けられた患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。
この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2005年4月から2012年3月までの間に大腸癌の診断で当院で手術を受けられた方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、身長・体重、これまでの治療経過、既往歴、術式
術後1年目や3年目の定期フォローアップ外来で行われた下部内視鏡検査結果
血液検査やCT検査など各種検査の結果 など

- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 横田 満

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）